報道発表資料

2026 年 11 月 27 日
アステリア株式会社
株式会社レッドクリフ

アステリアとレッドクリフ、ロボットソリューション事業で資本業務提携
フィジカル AI 時代の先端ロボットソリューションで協業
～両社の強みを活かし、レッドクリフがエンタメ市場、アステリアが企業市場を開拓～

アステリア株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下 アステリア）と株式会社レッドクリフ（本社：東京都港区、代表取締役：佐々木孔明、以下 レッドクリフ）は、ロボットソリューション事業における資本業務提携を締結したことを発表します。アステリアはこの資本業務提携に伴い、米国子会社の Asteria AI & Robotics Inc.（本社：米国テキサス州）を通じて、レッドクリフが実施したシリーズ C ラウンドの Final Close に参加し、同社株式を取得しました。

本提携により両社は、世界各国で開発が進む先端ロボットの日本市場への普及を目指し、営業・マーケティング領域において協業します。エンターテインメント市場向けはレッドクリフが、企業市場向けはアステリアが担い、互いの顧客基盤と技術を活かして、国内でのロボットの社会実装を加速します。

■資本業務提携の背景

人手不足の深刻化と生成 AI の急速な進化を背景に、ヒューマノイド、四足歩行ロボット、自律走行搬送ロボット（AMR）、ドローンなど、AI で現実世界を動かす「フィジカル AI」を担う先端ロボットが世界中で次々と登場しています。

一方、企業がロボットを実際の現場で活用するには、機体を導入するだけでなく、業務システムとのデータ連携、業務に合わせたアプリケーション、導入前の検証から導入後の運用・保守までを含めた「ソフトウェア」の提供が不可欠であり、これをワンストップで担えるパートナーは限られているのが現状です。

レッドクリフは、国内ドローンショー市場でシェア No.1※を誇り、1,000 機以上の大規模ドローンショーを数多く手がけ、2025 年に開催された大阪・関西万博では、閉幕日に 3,000 機によるドローンショーを実施するなど、多数の機体を安全かつ精緻に制御・運用する技術とノウハウを有しています。2026 年 11 月には、Unitree 社とロボットエンターテインメント分野での協業に向けた基本合意書（MOU）を締結し、人型ロボットによる「ロボットショー事業」を始動しました。



レッドクリフが提供予定のロボット事業イメージ図

アステリアは、1 万社超の企業が導入するデータ連携ツール「ASTERIA Warp」、AI/IoT プラットフォーム「Gravio」、ロボットアプリケーション向け継続的シミュレーションプラットフォーム「Artefacts」などを通じて、企業システムと現場、そしてロボットを「つなぐ」ソフトウェアを提供しています。

そこで、両社はこうした互いの強みを組み合わせることで、エンターテインメントからエンタープライズ領域まで、日本の企業や社会に向けて、先端ロボットを「すぐに使える」ワンストップなソリューションとして提供できると考え、今回の資本業務提携に合意しました。

■資本業務提携の概要

項目	内容
出資者	Asteria AI & Robotics Inc.（アステリア株式会社の米国 100%子会社）
出資先	株式会社レッドクリフ
出資の形態	シリーズ C ラウンド（Final Close）における第三者割当増資の引受け
シリーズ C 全体の主な引受先	楽天キャピタル（リード投資家）、パソナグループ、博報堂、カヤック、関西イノベーションネットワーク 2 号投資事業有限責任組合 ほか
出資金額	非開示

■資本業務提携の内容

1. 世界の先端ロボットを用途開発とともに提供

両社は、日本を含む世界各国のロボットメーカーの製品を共同で調査・評価し、日本市場の利用環境に適した機体を選定します。また、選定したロボットは、両社のソフトウェアを組み合わせ、導入前の検証から業務システムとの連携、導入後の運用・保守までを含めたソリューションとして提供します。

2. 市場ごとの役割分担

市場	担当	主な用途（例）
エンターテインメント市場	レッドクリフ	人型ロボットによるロボットショー、スポーツ・音楽ライブ・展示会での演出、商業施設や地域イベントでの活用
企業市場（自治体を含む）	アステリア	ロボットによる警備・巡回、設備点検、物流・搬送、清掃、現場データの収集

両社はそれぞれの領域で得た顧客ニーズや運用データ、技術ノウハウを相互に共有し、製品選定やソフトウェアの改善に反映します。

3. ロボット向けソフトウェアの共同開発

レッドクリフの多数の機体を制御・運用するノウハウと、アステリアのデータ連携・シミュレーション技術を組み合わせ、複数台のロボットを協調させるためのソフトウェアや運用ツールを共同で研究・開発します。

■両社代表のコメント

アステリア株式会社　代表取締役社長／CEO　平野洋一郎

AI が現実世界で価値を提供する「フィジカル AI」の時代を迎えています。AI の急速な発達によりロボットの進化は著しく、これから様々な企業の業務の現場にロボットが入っていきます。そこで鍵を握るのは、ロボットのハードウェアそのものに加えて、ロボットと業務、データ、そして人をつなぐソフトウェアです。多数の機体を自在に操るレッドクリフの技術と、「ソフトウェアで世界をつなぐ」アステリアの技術を掛け合わせ、世界の先端ロボットを日本の企業が安心して使えるソリューションとして届けてまいります。

株式会社レッドクリフ　代表取締役　佐々木孔明

私たちレッドクリフは「夜空に、驚きと感動を。」をミッションに、ドローンショーを通じて新しい表現に挑戦し続けてきました。本年 11 月には、Unitree 社との協業により、その挑戦を空から地上へと広げる「ロボットショー事業」を始動しています。ロボットが人々に驚きと感動を届ける時代が始まろうとしている今、企業システムと現場、そしてロボットをソフトウェアでつなぐ確かな技術を持つアステリアと手を携えられることを、大変心強く思います。エンターテインメントの舞台で生まれた感動を入り口に、ロボットが日本の社会や暮らしの中で当たり前に活躍する未来を、両社で切り拓いてまいります。

※：株式会社富士キメラ総研「映像 DX 市場総調査 2024」（2023 年実績）

■「アステリア株式会社」について（ Web サイト https://jp.asteria.com/ ）

アステリアは社会や企業を「つなぐ」エキスパートとして「ソフトウェアで世界をつなぐ」をコンセプトに、ヒト、モノ、オモイを「つなぐ」製品やサービスを提供するソフトウェア開発企業です。基幹製品のデータ連携ツール「ASTERIA Warp」は、様々なシステムやサービスをノーコードでつなぐ製品として、1 万社を超える企業が導入しています。さらに、AI/IoT プラットフォーム「Gravio」は現場データの収集・統合・活用までをワンストップで実現しフィジカル AI 領域にも展開。ロボットアプリケーション向け継続的シミュレーションプラットフォーム「Artefacts」など、自律・分散・協調時代に貢献するソフトウェア等の提供を通じて、DX や業務の効率化を推進しています。また、ブロックチェーン推進協会、ノーコード推進協会などの設立に参画するなど、様々なイノベーションを推進し新しいテクノロジーや価値観を普及啓発する活動にも取り組んでいます。

■「株式会社レッドクリフ」について（ Web サイト https://redcliff-inc.co.jp/ ）

レッドクリフは「夜空に、驚きと感動を。」をミッションに、ドローンショーの企画・運営を手がける企業です。国内ドローンショー市場でシェア No.1※を有し、1,000 機以上の大規模ドローンショーを強みとしています。2025 年の大阪・関西万博ではプラチナパートナーとして会期中のドローンショーを担い、閉幕日には 3,000 機の飛行を実施しました。2026 年 11 月には、Unitree 社との協業により人型ロボットによる「ロボットショー事業」を始動しています。

【本件に関するお問い合わせ先（報道機関窓口）】

アステリア株式会社　広報・IR 部：齋藤ひとみ
TEL：03-5718-1297 ／ 携帯電話：080-7709-5212 ／ E-mail：press@asteria.com

株式会社レッドクリフ　広報：玉越有美子
E-mail：pr@redcliff-inc.co.jp ／ 携帯電話：070-3204-1729

アステリア、ASTERIA、Handbook、Platio、Gravio、Artefacts はアステリア株式会社の登録商標です。
本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です。